

福島市市民活動サポートセンター



ふくサポの
広報大使
サポわんでーす



にゃんこ隊長です

ふくサポ通信

2021年早春号

vol.95

<http://www.f-ssc.jp>

にゃんこ隊長が行く！

ドリームサポート福島

～夢を支え、楽しい社会をつくる～

最初はまちなか広場での音楽祭を企画し、避難者を招待し音楽を楽しんで頂きました。それをきっかけに、学生や若者のキャリア支援事業、農商工連携・6次化支援事業、さらには地域のまちづくり支援事業と活動の幅を広げ、2013年には法人格を取得しました。

5年前からは国際高校生放射線防護ワークショップの運営協力をしています。「たとえ高校単位の小さい発信でも、福島の現状を伝えることが重要」と語るのは理事長の阿部さん。2019年には県内と東京の高校4校、海外からはフランスの高校1校の学生が参加し、6日間に渡り浜通り、福島第一原発、第二原発、中間貯蔵施設等を見学しました。最終日には東京都の衆議院第一議員会館 国際会議室で、福島の「現状」や「課題」を伝えるプレゼンテーションを行いました。「参加した福島の学生が、将来は福島に戻ってきて原発の廃炉の仕事をしたいと言つてくれた時は涙が出るほど嬉しかった」と理事の菅野さんが話してくれました。



「福島原発 中間貯蔵施設前での撮影」



【元気プロジェクトでの
ワークショップの様子】

また、昨年10月から今年の1月にかけて小さい子どもさんから高齢者までどなたでも参加できる「アートで広げるみんなの元気プロジェクト」を開催しました。アート作品を作り上げることで福島の魅力を再確認できるワークショップで、カメラを持って街を歩き、気になった場所や思い出を写真に収めたり、相馬の海辺の流木を用いて作品を作ったりしました。これらのプログラムは、アートを通じ自由な発想で福島の街の魅力を発見できる貴重な体験になったことでしょう。

最後に阿部さんは「活動を通じて携わってきた子ども達が、いつかは福島に帰ってきて、この活動を次の世代にも繋げて行って欲しい」そんな夢を熱く語ってくれました。

«お問い合わせ先»

認定NPO法人 ドリームサポート福島

住所：960-8034 福島市置賜町8-8（パセナカミツセ事務所内）

TEL : 024-563-1955 （事務局（株）JUST DO IT内）

HP : <http://d-s-fukushima.org/>



【左：理事の菅野さんと
右：理事長の阿部さん】

【コロナ禍での活動について：ふくサポアンケートより】

新型コロナウィルスの感染拡大でみなさんの活動にも深刻な影響が及んでいることだと思いますが、コロナ禍においても様々な工夫により継続的に活動をされていて、日頃ふくサポをご利用いただいている団体のみなさんへアンケートを実施いたしました。

Q

活動を行う上で、どのような対策や工夫をしていますか？

A

- マスク着用、消毒、手洗い、換気の徹底、検温
- 参加者全員がフェイスシールドの着用
- 3密対策として、長机は同じ方向に向け一つにつき一人とする
- 正面での会話は避ける
- 大学生においては、朝夕の検温、行動歴の記録、接触確認アプリの利用、また、2週間以内に感染拡大地域や県外等に移動した場合は、2週間参加を控えること
- ワークショップでの参加人数の制限
- Zoomを使ったオンラインでのワークショップ

**Q**

どのような点で苦労しましたか？

**A**

- 会員とのコミュニケーションの取り方（メール、ラインが中心となった）
- オンライン環境でのコミュニケーションの取り方が難しかった
- 緊急事態宣言に準じた福島県独自の対応により、急遽対面からオンラインでの開催になり、時間的な余裕がなく充分な告知期間を持てなかった
- 学習支援という活動の為、人と近づきそうになる場面は気を遣った
- 事前に参加人数を調整すること
- 遠方(県外)の参加者や体温37度越えの参加者への欠席の促し方

Q

コロナ禍を乗り越える上であって良かったと思ったものは？

A

- 会員同士の繋がり（精神的な支えになった）
- 活動メンバー一人ひとりの存在が大きかった
- 活動に理解や協力をしてくれる地域のみなさんや参加者の方々
- 活動できる場所がある
- コロナウィルス対応の補助金
- Zoomなどのによるオンライン対応が出来なければワークショップは不可能だったため、あえて言えばオンライン対応ソフト

その他のご意見

○昨年秋に歴史探訪と併せてクリーン活動を実施した。会員同士のコミュニケーションが図れたと同時に地域の奉仕活動が出来て有意義だった。

○打合せやワークショップの開催について、対面とオンラインとで使い分けが必要であると感じた。

回答

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| ●F・cationサークルホップ（大学の指示により1月～3月は自粛） | ●福島に公立夜間中学をつくる会 |
| ●ドットジェイピー | ●ドリームサポート福島 |
| | ●福島PHP友の会 |
| | (五十音順) |

各団体のみなさんは活動が制限される中、感染防止対策の基本的なことを徹底されていました。ワークショップやイベントの参加者へも同様に徹底していただきながら、コロナ禍を乗り切っているようでした。また、Zoomなどを駆使しオンラインでの活動も増えているようです。ふくサポとしても参考にさせていただきながら、今後もみんなの活動の後押し了出来れば幸いです。

ご協力いただきました団体のみな様ありがとうございました。



「～ふくサポ活用のとらの巻～」②

福島市市民活動サポートセンターは『福島市協働のまちづくり推進指針』に基づき公益的市民活動を行っている団体や個人の支援を目的として運営しています。センターを訪れるさまざまな市民活動団体やNPO、また、一般市民の皆さんが気軽にかつ気持ちよくご利用いただけたこと、人や団体の輪が広がる場所づくりを目指しています。

90号では会議室の利用にあたって基本情報をお伝えしましたが、今回は会議室利用以外に、「ふくサポ」がどのように活用できるのかをお伝えします。



団体の情報を発信したいのですが

どうしたら良いですか？

発信する方法は複数あります。

チラシを持ち込みいただければ、館内に設置や掲示することができます。また、「ふくサポ通信」のSmile Cafeでイベント情報を掲載することもできますし、HPにアップすることも可能です。さらに、金曜日の午後5時45分から地元ラジオ番組でイベント情報を紹介するコーナーを持っているので、こちらでの紹介もできますので、上手に活用して発信力を高めましょう。

※Smile Cafeへの投稿は偶数月の第一金曜日までにお持ちいただくと、末日に発行されるふくサポ通信と共に、県内外の支援センターやNPO、市民活動団体などへ向け発送されます。（例：4/2持ち込み→5,6月分イベントを4/30発送分に掲載）

他の団体の活動を知りたいのですが、どんな情報を入手できますか？

主に、福島市内の市民活動団体の活動内容や、イベント情報、会報、助成金やボランティアの情報などが入手できます。また、県内外の支援センターのニュースレターで市内以外の団体の活動情報入手できますので、みなさんの活動の参考にしてみてはいかがでしょうか。



ボランティア活動をしてみたいのですが 募集はありますか？

「市民活動をしてみたいけど、ハードルが高いので、まずはボランティア活動から！」 「こんな活動に興味がありお手伝いしてみたい」 または、「こんな人材を探しています」 「活動に協力してほしい」などの双方の要望に対応し、仲介いたします。是非、ご相談ください。

活動の資金を開拓したいのですが…？

ロビーの一角に助成金コーナーがあります。全国展開のものから、県内や市内の地域の情報、または、活動に特化した助成金が見つかるはずです。コーナーの掲示番号より詳細を検索できますので、事務室までいらしてください。時期により情報量が少ない時もありますが、気軽にお尋ねいただければ、HPよりお探しいたします。

NPOや市民活動について学びたいのですが どうすれば良いですか？

NPOの活動を始めたばかりの方や、ボランティアやNPOに関心がある方向けの「市民活動ステップアップ講座」、NPO活動をしていく上で必要で、実勢的な「NPOマネジメント講座」また、身近なテーマを題材にした一般の方でも参加しやすい市民活動をサポートする講演会「オープンセミナー」を実施していますので、みなさんの状況に合わせて参加されてみてはいかがでしょうか？

更に、地縁団体やNPO、市民活動団体、企業などとの連携イベントを講座形式とした「まちづくりトークカフェ」は、スポーツ系の団体とのコラボで体操をしたり、テレビ局や工場見学など気軽に参加でき、楽しみながら学べる講座となっております。

NPO設立を考えていますが、運営していくけるでしょうか？

NPO設立や設立してからの運営に関する相談を承っています。人事や労務のこと、または会計に関する事など、内容によっては専門の相談員が対応いたしますので、事前にご連絡をお願いいたします。

その他、イベントの企画や運営など、NPOに関するお悩みも随时受付ております。

※さらに詳しい情報や上記で以外の内容については福島市市民活動サポートセンター「ふくサポ」のHPか直接お電話にてお問合せください。

☎ 024-526-4533

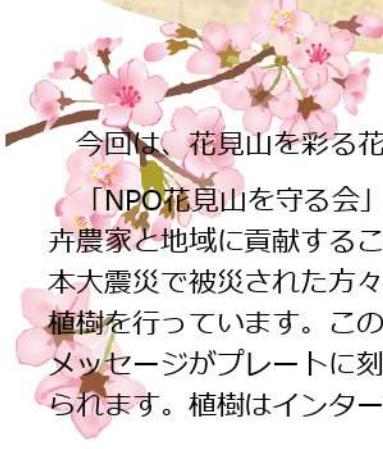
URL <http://www.f-ssc.jp>

いろんな「したい！」に応えます



～ふくサポ おすすめの逸品～

～Part6～



今回は、花見山を彩る花を紹介します。

「NPO花見山を守る会」は、花見山の整備・農業活動を行い地域の花卉農家と地域に貢献することを目的として活動しています。他にも東日本大震災で被災された方々へ支援を行っており、支援の一環として桜の植樹を行っています。この桜の木は今まで福島を応援された方々からのメッセージがプレートに刻まれているもので、復興に向けた想いが感じられます。植樹はインターネット上でも注文を受けており複数人で一つの樹を植えることもできます。



【植樹作業の様子】

道中では生け花に用いる切り花を一束300円で購入することができます。花見山で育てられた桜とサンシュユは、今年は3月下旬から4月初旬の期間にシーズンを迎えます。これらの切り花は温室で咲く頃合いを調整しているため、より多くの花と併せられるようになっています。

今年の桜は切り花や植樹の他にもフォトスポットとして一役担っています。代表の高橋さんは「福島に元気があふれるようになってほしい」という思いを込めて桜の木でハートマークを作りました。このハートは展望台の側に2ヶ所設置されています。内側からのぞいてみると吾妻小富士、花見山公園がそれぞれハートに囲まれている様に見ることができます。



【ハートの桜をバッグに
代表の高橋さん】

高橋さんたちが育てている花々は活き活きとしており、まるで「コロナなんて露ほども知らないわ！」と体で表現しているかのようです。外出自粛の生活が続き、自然から遠ざかっている今だからこそ、花々がより暖かな癒しとなって目に映るかもしれません。

«お問い合わせ先»

NPO花見山を守る会

住所：〒960-8141福島市渡利字康善寺21-1

TEL：024-522-6464

入場料無料

【ボランティアのみなさんとハイポーズ！】



編集後記

- ・ (ふかちゃん)
- ・ 「花粉症か?」「コロナか?」疑いの視線がつらい(泣)、花咲く春よ!!(マーラン)
- ・ 三寒四温で春の足音が徐々に近づいて来ています。コロナと共に冬よ去れ!(みー)
- ・ 3.11から10年、もう一度防災の意識を高めたいと思います。(ヒロ)
- ・ (#)
- ・ (K)

福島市市民活動サポートセンター「ふくサポ通信」2021年早春号 vol.95

発行日／2021年 2月28日 編集／認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

発行／福島市市民活動サポートセンター 〒960-8041 福島市大町4-15 チェンバおおまち3階

TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560 URL <http://www.f-ssc.jp> MAIL f-ssc@bz01.plala.or.jp